

防犯カメラシステムの導入について

平成26年2月1日より、町内8カ所に防犯カメラシステムの運用を開始し、防犯体制を強化しました。

☎ 帰町準備室危機防災係 ☎ 0240(34)0229

食品の放射能簡易分析結果

町では、食品中の放射性物質を測る機器を配備し、さまざまな食品等の安全安心のため放射性物質測定を実施しています。

■1月の分析結果（上竹倉庫受付分）

区分	検体数	検出された検体数	品名
野菜	13	0	しいたけ
山菜、きのこ類	6	1	
米（新米）	3	0	
魚	1	0	ユズ
その他	10	1	
水（井戸水・湧水等）	4	0	
合計	37	2	

■1月の分析結果（浪江町役場本庁舎受付分）

区分	検体数	検出された検体数	品名
野菜	0	0	しいたけ
山菜、きのこ類	1	1	
米（新米）	0	0	干し柿
魚	0	0	
その他	2	2	
水（井戸水・湧水等）	1	0	
合計	4	3	

食品衛生法における基準値（セシウム134、セシウム137の合算値）
 ●一般食品……100ベクレル/Kg ●飲用水……10ベクレル/Kg
 ●牛乳……50ベクレル/Kg ●乳幼児食品……50ベクレル/Kg

※浪江町内の食品は避難指示解除準備区域および居住制限区域のものを受け付けています。

食品の簡易測定は、随時受付しています。ご希望の方は、お問い合わせください。

☎・☎ 上竹倉庫事務所 ☎ 0243(23)4774

避難区域内の水の汚染状況検査結果

町で実施した避難区域内の水等の汚染状況検査結果をお知らせします。

区分	検査月日	採取地	検査結果
井戸水	1月9日	権現堂	不検出
	1月9日	川添	不検出
	1月14日	室原	不検出
	1月14日	室原	不検出
河川流水	1月9日	やな場付近	不検出
底質	1月9日	やな場付近	3,400ベクレル/kg
海水	1月7日	請戸漁港	不検出

☎ 生活支援課生活安全係 ☎ 0243(62)0151

請戸川（室原川）・高瀬川種苗モニタリング数値（第1回）

室原川高瀬川漁業協同組合では、福島第一原子力発電所事故による河川種苗の放射能汚染の現状把握のため、反復・継続してモニタリングを実施しています。

■測定結果 平成25年5月・6月分 (単位:ベクレル/kg)

種苗名	場所	5月	6月
ヤマメ	(請戸川) 大字津島字大高木	320	採捕無
	(請戸川) 大字下津島字小塚	1,090	1,600
イワナ	(請戸川) 大字津島字大高木	2,062	採捕無
	(請戸川) 大字赤字木字白追(石井商店西支流)	7,628	採捕無
アユ	(請戸川) 大字権現堂字北順礼川原掃部頭首工(浪江高校南側)	採捕無	2,940
	(高瀬川) 大字井手字大高倉鷹ノ巣(やすらぎ荘入口)	採捕無	520
	(高瀬川) 大字酒井字井戸川下酒井橋(請戸頭首工下)	330	470

室原川・高瀬川漁業協同組合調べ
 ※いずれも種苗全部（頭・内臓・筋肉・皮）での計測
 ※分析は山形県理研分析センターによる数値結果
 ※イワナについてはいずれも郡山女子大学による調査結果

☎ 室原川高瀬川漁業協同組合 ☎ 024(575)1636

避難区域内のゲルマニウム半導体検査結果

町が福島県に依頼し実施した避難区域内の取水場のゲルマニウム半導体検査結果をお知らせします。

区分	採取月日	採取地	検査結果
原水	1月21日	小野田取水場	不検出
		苅野取水場	不検出
		谷津田取水場	不検出
		大堀取水場	不検出

ゲルマニウム半導体検出器は、ゲルマニウムが持つ半導体（温度などの条件変化によって電気を通す率が変化する物質のこと）としての性質を利用して、水や食品などに含まれる微量の放射線（γ線）を測定し、放射性物質の種類やその量を測定する分析機器です。

☎ 復旧事業課上下水道係 ☎ 0240(34)0234

みんなで ともに 乗り越えよう

浪江町を復興していくためには、町民の生活再建・健康管理、インフラの復旧、賠償問題、絆の維持など多くの課題があります。

その中で、町がどのような取り組みをしているのかをお知らせします。

町内で営業を再開しました



相双電気株式会社

町民の皆さんへ

町内で知り合いに会うと嬉しいし、ほかの場所で会うのと違って、浪江町内で会うからこそ意味があると考えています。毎日町に戻っていると、浪江町の風景も震災当時からだいぶ変わったことがわかります。今は、自分が浪江にいて、町民の皆さんが喜んでくれることが一番大事だと考えています。

相双電気株式会社 代表取締役 阿部 展才

[本社]
浪江町大字権現堂字蛭子町3-2
☎ 0240-35-3258 ☎ 0240-34-6841
[仮事務所]
南相馬市原町区北町161-2
北町エイトハイツ8号室
☎ 0244-26-3562 ☎ 0244-26-3564

(有)泉田自動車工業所

町民の皆さんへ

民間車検場の認可を受け、浪江町内で自動車整備工場を再開しました。自動車の突如の故障などに対しても、いち早く整備して対応できるので、一時立入りされている町民の皆さんや、復旧・除染等の作業員の方々に、安心を提供できるのではないかと考えています。

(有)泉田自動車工業所 代表取締役 泉田 裕章

[本社]
浪江町大字権現堂字上蔵役目16-3
☎ 0240-34-5556 ☎ 0240-35-5280
[仮事務所]
南相馬市原町区大木戸字北西原48-1
☎ 0244-26-8856 ☎ 0244-26-8857



☎ 産業・賠償対策課産業再生係 ☎ 0243-62-0167

町の農業再生に向けて

県営農業再開支援事業による
実証研究の結果報告

農業総合センター生産環境部福島市駐在

本年度は、北幾世橋の実証ほ場において、ダイコン（根菜）、ハクサイ（結球野菜）、ホウレンソウ（葉菜）の3品目を栽培して、放射性セシウム濃度が基準値以下となることを実証しました。

反転耕で
ほ場の放射線量が低減

地上10cm高の空間線量率は、反転耕によって約半分の0.25μSv/hに低減しました。土壌の層位別放射性セシウム濃度を調査した結果、地表部の放射性セシウムが、下層30〜40cmに埋設されたことが確認できました。また、これまで下層にあった土が上になったことから、反転耕後には土壌分析を実施して、土壌の化学性の改善を行った後に施肥を行いました。

収量品質は◎、
収穫物の放射性セシウム
濃度はND

反転耕を実施したほ場においても、土壌分析に基づく施肥を行う

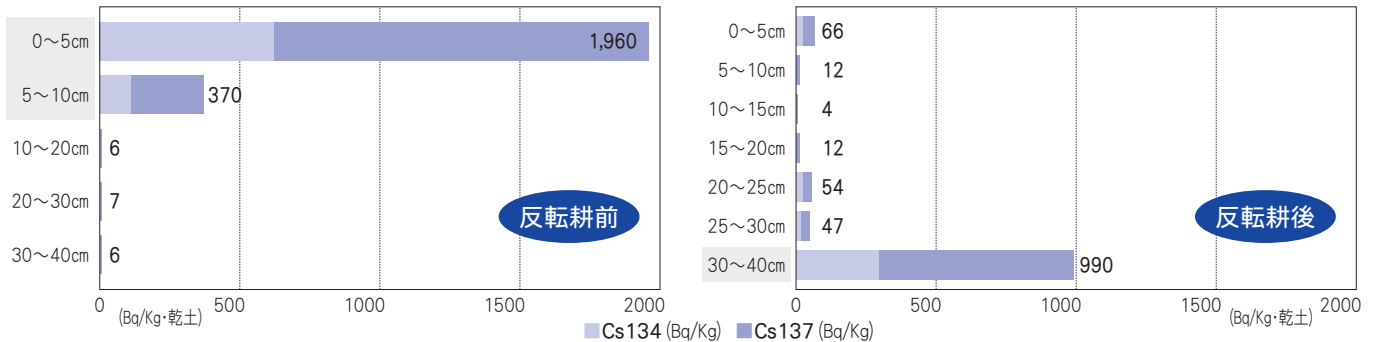
て栽培した結果、震災前における地域の平均的な収量を上回る十分な収量が得られました。一部で害虫による被害も見られましたが、全体的に品質の高い野菜が収穫できました。

収穫物の放射性セシウム濃度は、すべての品目とも栽培した時期に係わらず検出下限値以下で、安全な野菜が栽培できました。反転耕によって下層に埋設された放射性セシウムを心配する声も聞かれましたが、根が下層(30cm以下)に到達する青首ダイコンでも検出下限値以下でした。

野生鳥獣は
今後も対策が必要

ダイコン、ハクサイ、ホウレンソウは、イノシシ等の被害を受けませんでした。定ポイントによる調査の結果、数種類の野生鳥獣が確認されたので、今後も栽培する品目に応じた対策を継続していく必要があります。

◇反転耕前後の土壌層位別放射性セシウム濃度



◇収量と収穫物の放射性セシウム濃度

品目	播種日 (月日)	品種	収穫日 (月日)	収量 (kg/10a)	測定日 (月日)	¹³⁷ Cs (Bq/kgFW)
ホウレンソウ	9月4日	エリナ	10月7日	1,020	10月8日	N.D.(1.4)
	9月14日		10月23日	1,190	10月25日	N.D.(2.2)
	9月25日		1月20日	396	1月23日	N.D.(2.4)
ダイコン	9月4日	夏つかさ	11月11日	8,580	11月15日	N.D.(1.6)
		聖護院		5,130		N.D.(1.4)
	9月14日	冬人 聖護院	12月9日	9,230 5,310	12月13日	N.D.(1.4) N.D.(1.7)
ハクサイ	9月14日	きらぼし65	11月11日	8,160	11月19日	N.D.(2.2)
		きらぼし80	11月28日	10,800	12月5日	N.D.(1.8)

※()内は検出下限値

◇実証ほ場に夜間出現した野生鳥獣

イノシシ	タヌキ	ハクビシン	アライグマ	キツネ	ネズミ類	イエネコ
10	42	38	15	2	3	7

※9月25日~12月25日(91日間)の出現回数



収穫調査の様子



ほ場の様子を伺うイノシシ

☎ 農業総合センター福島市駐在 TEL 024(593)6174
 ☎ 産業・賠償対策課産業再生係 TEL 0243(62)0167